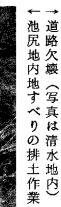
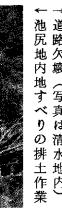
池尻地内地/ 地すべ、写真 りん の排土作業(清水地内) 業







増水し荒れ狂った渋海川

> を注いでいた。 住を 家注 ました。 欠壊等 て でこの による大きな被害が出このため町内各所で崩の間に総雨量三四一ミ 旧め町被にるで害 ーはは

力方

内各所

て

崩

士. 欠

避難勧告 (土橋 源告 勘海老 ( 松代( ・上東・山本)・ 後明(長兵エ)(天上原) 菅刈(大坂屋)

避難準備勧 ずまや・

**崩土** 注意指示 (高木屋) (ごぜん) 

。町。。車。 欠道崩欠庫欠屋

菅刈

(坂中)

がで災害)松代(大松民(さ (大坂屋)

, , , , , , , , , 集 二 土 壊 33 35 路 ケ線 崩土 45ケ所

土 80 ケ所

田

ha

ha 五 ha

第平公民: 木屋

印刷·松代印刷所

**常話松代 7—2301番** 

昭和53年7月15日発行

第224号

新潟県松代町公民館

(1)



のま な会 どが 6 Ü た12招月。件集28 です。 議決され、 一 の 議 決 さ れ、 一 付般 た 主な内 議 会 숲 • 計 第 議補 2 容は 决正回 さ予定 次れ算例

## 報告事項

。産業経済常任委員会 ・ というでは、 をはいました。 なされました。 なされました。 なされました。 なされました。 なされました。 なされました。 促進の一般を開いています。 要査よ設 望が果農民

○越松 係 0 継 続 費

た の機続するもの政費を五十一と一〇総額九億七、四 の主四 で十一 す四九 °年万 )度円 **にの** わ建

## 決 事 項

 $\Diamond$ 53 号 つについい年度一般 て会計 補 正予 算 2

つ五 歳 四 され 町民税の五万元に ぞ既 定 **`**れ 七の歳 主なものの表入歳出る。一主なものの表入している。 。なぞ万 予 りれ九算 ま二千の円総 た億が額 。五追に `加そ

0 0

0 0 八四六六 大000 方方方方円円円円

0 町債 ・関東支出金 ・関東支出金 ・関連支出金 は補助金)出て多期孤立な育費関係) 集六 落〇 機五 能万 維円

0 歳出 八五 五二  $\overline{O}$  곳

万万

円円

◇過

域

振

興計

画

 $\mathcal{O}$ 

\_

部変更に

つ

い疎

て地

0 0

孤安し 立全主な 茶費 上車を 上車を 上車を 下 で に、円整円備

0 建 方圧 円雪

室野 儀 線 測 量 五委 万料

水  $\boxplus$ 利 用 再 編 対 策 事 三 業

Щ

果樹等 苗は 木 等 代種 七字 三万円 八六万 万円) 二二万 円

> 除雪機 械 ٠ V ラ  $\overline{O}$ 繕○借 上 円料

0 菅 刈 分 校他校 舎  $\frac{-}{0}$ 修 万費万 À

中学校 統合 設 事業 費 Ŏ

グ ( ラ 校 単米 独飯 ン歌 土給 ۴ 木食整詞施設備作 施設災害復旧費 避備備品二○○万円 作曲謝礼五○万円 二、八○三万円 西田 •

六〇 匹 万 円

業用 施 設災害復 費

四旧 一万万 Ã

 $\Diamond$ 昭 正和 予 53 算年 つ 度 第町 2 農 業共済 号 に の事 会 て 計

す稲五 無事戻金8 一次円追加な 農作物共2 物共済 のさ 補れ勘 れる 正 増 ナ 当増によるもの これに との事業収益が のはが で水九

 $\Diamond$ 一護町 部資災 改金の子書の 貸慰 つ付金 いけの てに支 関 給 す及 るび 条災 例害 の接

降げ護けれ五○て弔死 にら資たま万○い慰亡 亡し 円 た場 金が 万 か円 た た災害 町民 豪雨 金 の等 を遺の 額 (35年れず) (37年れず) 族 一万万 に然 れするに場万 れ月ぞる被引合円 ま14れ災害上で す日ご し 対災 て す害 るに す日引 害り

加道・ し改山に昭 た良平新も事線規 和 の業 、に年 で農屋か °道丸 ・ら 整・片 54 備池桐年 事之山度 業畑線の 等線 、事 をの室業 追町野計

 $\Diamond$ に松 つ代 () HT て農 業共 済 条 例 0 \_ 部 改正

月に 30 つ 共 済 日い にて細 改は目 め 12書 ま月の し 1 提 た日出 と期 あ日 を春蚕 11 繭

> $\Diamond$ 水 53 稲年 達 蚕町 繭農 無業 事決戻済 金事に業 つ特 い別 て会 計

(1) 水 **福共済** 五〇無 戸九事 戻 万 兀 金 六八五〇 円戸

蚕

 $\Diamond$ 万 事 四 業 特 八 涥 七 会計 \_

円

决· 差出 収引・入 決 52 算年の度  $\equiv$ 剰 認町 余 定農 金七 五一四五二八九万四 についい業共済 万九万 て 七、二 一五八 二天二 円九円 の円・

水 稲 共 済 事 業 被 害 概 況Ⅱ

, 数 () () () 内 は 前 年

被 3 割以. 三戸 海 四  $\bigcirc$ 戸

共 済 四 金一 積 五 九 六 \_ a

七

円 金 が も 少な (三、 支 五 払〇 豊 力五作風六 れ戸の水九 ルました。 い年となり 小に六三万元 小書、病害 病害虫 八水虫 ↑稲の○○ 一無無 一無 一無 一無 事 も 七 七 七 七 七 七

♦ 道 の 認 定に つ 61 て

m 延 長 を m)を町道に認定しまれた長四六八m・巾員三・坂を終点とする旧国道線板を終点とする旧国道線 線島 し・ た 五 m 号字 ... ( ) 石 原

 $\Diamond$ 機 械 の 購入契約に つ 61 Ċ

支店より 業によ 53 年 一台を予度雪寒地 度雪 ŋ 上 一越市 購 入 すの る新定も湯価 T域 日建 額 六 設 の小 で松 一五機 `C 械 す販 売上越一型でででをがをがをがをがをがをがをがをがをがをがをがをがをがをがをがををがをを<

 $\Diamond$ いて 農業基本 で 関す す政政 る策府 意確買 見立入 書・価 の米格 提穀な 出政ら に策び つ確に

央等農 Kg 関に業当 り和 大す本 臣る政万年 で要請 策九産 確 送す 立 •七に るの米六つ も意穀円い の見政のて で書 策実一 すを確現俵 ゙゜ 中立 と 60

## Ħ から自 分を

胃 結 果ガ四 かン十 ら死八 °Ė 年 ٤ カュ 、つくし号でる五十二年 Ó ŧ 検で 診の

の年 - 五人ですが (1.表) (1.表) で各種の ・ (表) も計多で い 第 の主 が位 胃の ガガ ソン

いら九は五で死 ま六人七年す亡毎 が十間 す十 代胃 のガ人 八がこってすが、 人面そで 8 8 の死 死亡し うちし てか十人

t す中 がや ì 胃臓 で す。 が病 んで は 4 そ若 のい 割人 合が が死

1

## ガ過 僴 $\sim$ 48 l 52 年 $\smile$

は 女

計

29 (10)

9 (3)

3(1)

8 (4)

1 (1)

7 (7)

8 (1)

3(1)

4(1)

1 (1)

75 (30)

2

ン去死五 亡年 മ

下っはう っはう又考もい 大パーカップである。 ながれま さ い待康 予年い。まに ウムを飲 ば W す て 飲 ま す かみず 决 る Ġ B が l 自分の の むのがして損は 心する が 大 近 健 変 し、 な量のいし 康だ いもバや まの ح で少 たい

51~60 | 61~70 | 71~80 | 80 北以

10 (4)

5 (2)

2(2)

1(1)

1 (1)

5

1

25 (1)

8 (3)

3(1)

4 (4)

3

1

2

22 (8)

1

1 (1)

2(1)

7(3)

1(1)

1 (1)

2(1)

2(1)

1 (1)

17

1

1

1

3

2(1)

1 (1)

7(2)

た診ぎ 。のの今 様た う所 誘 Ø け そ とこ 対 て あ Ø 象 ż Ď っろ は で検 三十 v てへ 5 す診 申 Юĸ 予 o でし込みに受診申し 受才尚定診か、は ら今八 をの込に年月 で案りられ し 検 診隣がま胃日 を近皆し検過

ぎに ₺ 常 施される い 五 た て オ 下以さます。 いの発 ° 方見 婦 八 はさ人月 一れ科 τ 検 診 で 日 V٦ まで過

5.

1

 $11 \sim 20 | 21 \sim 30 | 31 \sim 40 | 41 \sim 50$ 

1 (1)

1 (1)

×

ガ

舌・口腔ガン

ガ

胆道・肝臓ガン

ガ

膀胱・前立線ガン

血液・淋巴ガン

計

Ħ 臌

道 ガ

門 ガ ン

食

腸

肺

肱

子 宮 ガ ン

ン

ン

ン

ン

ン

しヵ て「 V 下ドン さるも Į っソ うてに にい欠 おる 席 願人 し いは て し役間 ま場 接 すべ撮 °返影

₺ ガ 療 見が通 数 ンでの元 z 多り又 À Ø でつ おり 気 手 す 12 1 なます で健 す 常 で康を 。数 (⊂ 検 胃潰瘍 以 要 とり多 上精結 に検果 戾 ζ. Ø 異のは し、早期 (常が 対 2 表 が象 人期治 発者の

な 要 ご っ精 表 て 検者 で ごら V٦ ŧ は 圧倒 す Ø 的通 (C ) 男胃 のガ 人ン が死 多て、

お 等 くれです ₹ は 状がが 出 食 てから られ でな はい • • も疲 うれ てる

なくな! 問ガン 健し をう が  $\neg$ \*特にして た ノあ なると 事 る の五十つ 町の部 で検死査 ・オが人 たける。 部い亡 て人 でー 落 下は後 すして さいず でったと問 て 人れ いはば ゚゜゙ゔ゙ 年 て検 ま き を きがの けも 非 胃 す て 検診 °常費 大検日 に傷 のを勢診は 少や

っを 確 がい認 L リだせんめう 来く てなムい を人

### 児 緩 童 和 所 扶 さ 得 養手 制 れ まし 限 当 が 0

ょる 童 う つ を 父 が。 発育され と生計 養れを 手て同 当 当 ら じ く 一人をどれる方に 存支い 知給な でさい しれ児

## 当 の 对 象 者

☆

- がが母 法死が Ċ れ童消 し た児 童
- 3. 2. 1. (7 た障 害の 状
- 4. 父に父父父 る 一死児
- は場手を金但 い社当受へし 社当受へし未年父に会のけ障、婚以があ き、老今 受給者及が されてい 課支 社 給 会に 福つとき | | 保 | で | 発 | 年 | 重 | 変 で 文がいない 本金を除く) は ないない ないない ないない おたずね

頁 ^ 続く)

つ

検 診 結

<del>48</del> ₹ 52 年の 五年間) 果

れ 精 の 検 の人はわずか二二名で使受診者三四三名のこ うち明 です 治 生

男 女 計 診 者 1,131 995 2,126 精 検 252 102 354 精検受診者 243 1003 4 3 未受診者 9 2 11 異状なし 107 43 150 精 胃 費 瘍 38 3 41 十二指腸潰瘍 12 4 16 検 潰瘍搬痕 12 4 16 胃 炎 49 74 25 結 胃 下 垂 16 20 36 5 胃ポリープ 5 果 そ の 他 4 5 1

(3)

### (棚出年金)

○年金額の引上げ(53・7実施) 年金額を消費者物価の上昇率に 応じた引上げ── 6.7% (月額)

25年年金 35,558円→37,925円 10年年金 22,425円→23,925円 5 年年金 16,408円→17.508円 障害年金

1級 45,125円→48,133円 2 級 36,100円→38,508円 母子・遺児年金など

36,100円→38,508円

○無年金者に対する救済措置 過去の国民年金の強制被保険者 期間のうち、保険料を滞納した 期間はつき、特例として保険料 の納付を認める。(53・7実施) 特例執付保険料額 4.000 ○保険料額の引上げ(54・4 実施)

定額保険料 2,730円→ 3,300円 ※55・4からは 3,650円(ただ し、54年度に物価スライドがあ る場合には、その寒を乗じた額)

### (福祉年金)

〇年金額の引上げ(53・8 実施) 消費者物価の上昇率を上回る引 1-11

(月額) 15,000円→16,500円 老齢 書

1級 22,500円→24,800円 2級 15,000円→16,500円 母子・準母子

19,500 □ → 21,500 □ ○斯得制限の緩和

本人……2人世帯の場合 老齢・確害

> 年収 164万円→ 200万円 母子・進母子

年収 320万円→ 334万円 扶養義務者……6 人世帯の場合 年収 876万円(すえ置き)

## 国民年金法が 改正されました

パの障年ン国知 らし ! 各 害金 消 セ年、 人上費ン金母老昇者 せた しの 子令 l 物 ま でろ 、 や た 価 準 通 こ 指 す きこ準通 上の母算 ځ 数昭の年 七 子老にが和お金 令 よ六五も法 ら月 イれか遺を ŋ • ~七 年内改 ら児は 、じ拠パ度容正 ・寡め出 1のをさ ま七婦 、制セ全おれ

保が引は

後出て料のがたわ者き四 二五ちれが上月 に来い額 まは年  $\equiv$ をて全げか 牛る すー間年敕 い国 済るにれー `月施月 す こ約まケ さかる بح 一す月 れらたか〇 万現 ع خ 例月納 \_ らる

たはがケ実七 加四れ て入四を○ま五めら○又い者年納○す五つ、万現 実五とにえパ福て入 三のなる! 祉 まだ四め〇。年特 すけ月る円特六例 っ引セ年まだ四め○ き 金 れ八きて ン ع °ُ 上お上トは すかげりげを一一な日とな保 ま付のと ↑幅超○方っ以のっ険で二人い金引

▶心身障害の お子さんのための

望児で長

## 特別児童扶養手当

をご存じですか◆

童の ま童 あす児 定 す をひ重 と る れの ŋ る童 次 ح 養 ځ 手 こが ŧ 育 う当 全 代 ځ す 家 すと な庭は身 上をに 制 るし度 ょ ځ ( 育 ځ な 成社国も っ人 ては てに生 に会民に はう か児 **`**児まこ 努がすす る童 冢 童れの め とべこ この庭手たた もてや る と健生当もめ どのか  $\overline{\phantom{a}}$ をのの とも願に を全活 目育の支で施 がにい成

手て 当い前 はま `す Θ 本 玉 ح 飳

下役ま

当

現 況 届 ゎ で続 す かは

す害る律 。児重で

○をい定一対障め

にオにが一恵

害

象

給 +

を 玉

障え支

害た

福場

で障特

Þ

る知童

く手

はれ当

二のは

をい定害別

あ級お

る又

すオ級た

祉合る未にめ身

年はも満該に体

の国で障す法能

ゝあの当

で特で心

Ţ

Ō

扶か扶て害

養いの

手るあ

当方る

のにお

度支き

を給ん

ごさを

存れ家

的成安給児策

` 子

象と

ま

す

額

万 支 ŋ

す円現

役おら円五は

ま手

かと

書

をしで

受な

らの参役

の届の場届

当出い社枠

す務る現所

上社書

会内

でとい係ずでだ認養

給いさ祉必んた

手提お課黒続

C 百

す当が ご在

ځ 障障

で こ級級

上し害害

で入なてるの

尚印のいいた状毎

ヾはす現

鑑上方まめ況年

` \* 況

ま

だ

・会の手提所現

福をすいを童

ま記いいす育

を

出 得 在

きし状の

のて況児

児

 $\mathcal{O}$ 

正

つ

7

制 のな

度

ょ

る ح Ъŝ

金

前月

の日

確の

届年1

な ŋ ます

処見行得児 込 五 割 童 童手当法 はみ千の手 で円額当 かが支 職す らな給 六い額 に尚 Ŧ 者 が τ 処改円に 理正に増市 いに増額 町 た係額さ村 しるされ民 (1 ま事れ

٤ さ場だこ額 をが育 い社認れにそ 卒 義 し十 定ら満の 課請のた人 社求要なの る育 会 を件い前 満 さにと日 祉れ該との て当 まいす 入 አን፯ でなる おい人 い方で では

業務て八て本 す教お歳い国 り未る民 とが で了その き の前の児に次 児のう童支の 童児ちを給要 童の三さ件 で〜一人れた あ中人以まあ る学以上すて

の口こ校上養日はあ まる つ日

戸

0

. 共同

## お盆・帰京バスのご案内

出発日 8月 15 17 16 18 19 20

全席予約制 夜行・直行

直江津か9時間

☆デラックスパス・リクライニングシートですから、充分お 眠みいただけます。

☆手荷物のお持込みも可能です。

◇運賃料金は、国鉄とほぼ同額の見込みです。(陸運局長に申請 中。認可のあり次第、ご案内いたします。)

18号ルー 長野経由

19:00 20:00

20:20

新井の 21:00

長野・ 高崎経由 上野駅前 5:00

<u>18:20</u>

室野

17号ルー 十日町経由

浦原6 17:30

18:00 大平 17:45

18:30

<u>18 10</u>

六日町経由 工上野駅前

、整た退成加

ケ退当将

必基立すに

なくと

財庁

要づ金るわ職

政舍第備多年

のた負

こにりの

車 更年職

備め職かし

17号ルートのみ 3,300円

◎但し20名に満たない場合は取止めさせていただきます。

◇申込み・問合せは必頸城バス松代営業所へ◇

目定と縁そ民と 的が規組の法を夫 がお定を配は「婦 す る者 ¬婦養 記 民 民 民 民 得 者 いこ いのると ゚ゕ゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙゙ こでにの組え 親養のきしあ∟る を子よななるとと ういけ者いき え度な°れはいの るの規止は

での定していそ方し

五九 •

千の

年はた億をた算・

七追が額

八しそ〇1

三ての億・

〇3後円1

要ケのし〇円

う なな方い事夫婦 るいがて者婦が かき 子 るな方 ゜は ී වී のにし要 **、**が子る 緑加 組わ夫あ縁と はっ婦る組き

> て組養「福のるだなとのみると かをはのがなといを子夫祉当場かいい一番たい 一すと る は配ででは関夫の よし他とな婦の いにのがくが子いの分立方も もは一なてとをわ福関 の共方いも も養れ祉係 と同のた、に子てにももいいさで子め子縁といなな、てて れ縁をにの組するらい他のい

る件あし明取縁縁けこるしと婦に事合らかう方親めう らり組組れるのなすの反者に 身か消がには でで し有加な、あて場方るな、偶あ う効わら夫るも合がこら夫者る さいこ分にし有加な るいかのたるかっな婦 °るら規規か無ていが 、定定否効いと共 組共ははかかなき同 は同強なに、いはで 無縁行いつあと °いる

> で10財し 財1状い 政日況る 状かで上 況らす越 を昭



財広 は組 合

入庫負 と支入千 調建2え額令 二支担収な出は円予整設次るの構追 ○入庫負 敷高財は務支五 産 管 出 万 出金入 ° 算 積 っは一 て合四財二台台九と原のん理 で円四金がの て一〇こ 額立消 ○し町状ど費はな六一九おい○億れは金防5の手らたに算 をが `ど  $\pi$ 億 ま億五に一で ծ は占九消で万二 す更年職を来なり 。新計手必数もま 七な ー `対○す 、め億防 六 し億 三で金金44防車九町土 て九署 七五の 九八三七 `すをは台自両七に地 繰万四は 〇七月 動は六職がま七の 越円 六万末八 、加員柿す三給 万市 ○まわ職有車 金 万七現三 一料 八たせ員価2消 °待崎 三財円町 四千在〇 万、て退証台防建機町 `産 万等 千円の万 円地五職券指自物宿 • 円の 〇収国の 、収二

(5)

## A) 耳さわり バランス

は同りのに

め)こぶし立ち

(c)

**一トリムシリーズ(3)** 

(c) 腕のばし、他のはし、他のではます。 に手を伸ばし、他のでする。 に手を伸ばし、他のでする。 を吐きます。

置に戻し、右左、前はように手

ながら息は息を吸い後、斜め

六月受付分

(受付順)

戸

籍

の

窓

口

か

ら

◇作ろう健康◇

みんなでやろう

体力つくり運動

小堺あゆみ、変隆幸

長女

<u>蓬</u> 平

五郎作

父衛

二男

母広美

おめでとう

田中由美子

松代高校

母惠美子

二女

莇平政右エ門

リムこいまな体操といっていま

庶民の

うものがあり

ります。

が本に

いました。

生活の中で

戸 ラ ト 行

うど、土略まずをヨトゥニー お見を左手の上にのせます。ちょように床につけ、左の足を左手、自分のこぶしを、相撲の構えの自分のこぶしす、相撲の構えのは こぶし立ち 土踏まずを自分の体重を利

をしっかりつかむ。反らし両方の手の平で、両足を揃えて立ち、体のして立ち、体のでは、

体を後ろに

宮沢 直樹

母 一 子

) 父邦春

若月康子

子二女

孟

糀屋

父一郎 母一美 **父** 

長女

犬伏

庄円

a) ひざらら さわり



六八九七七五六

八四五四六一八 オオオオオオオ

**蓬** 野 善之助 **登** 野 善之助 **三** 野 善之助



上の付 78

誤りです。 千四月 子四月 受 訂正しのおく て

お詫びいた。

しの福

3.848(-1)7,634(-2)死亡 7 転出 15 减計 2 2

人口のうごき

7月1日現在

1,952(-2)

3,786(-1)

世帯数

人口男

出生

転入

増計

女

6

14

20

(6)



## 生活の中に スポーツを /

## -県民スポーツの日

7年会チ 年会チ

ムム

☆

バ

年加

-会 14 ル 員 A チー の チ チー 部

44

松代大会終了—

の大声援とともに各種目とも熱戦が ・松代高校を会場に3日と7月2日の円名スポーツの日松4 に両代 開日大 いさ

` 14

スポーツをとりる大会一日のみも

ま

件を克服

そ南み施

Ø

般 卓球の 加 8

放女子ダブル 一佐藤一徳 一佐藤一徳

松代青年会)

(高校職員)

**筑波孝** 

(高校教員)

小堺正

(高校生)

武

チ

三位

(西松建設)

(高校教

(高校生)

三三二一個三三二一個三二一団 位位位位人位位位人位位位体

(伊沢) (松代病院)

(松高) (松高)

般男子ダブル ス

☆バドミント ンの

(教員チ

( チ ー 年

ムA

西代

チー年

4 A

(室野チ

三三二一二三三二一二位位位位位 位 位 位 位 位 位 般 曲ン (高校生) (高校生) (高校生) (高校生) (高校生) (西松建乳 (大子 (西松建乳 ) ) (大子 (西松建乳 ) ) (大子 (西松建乳 ) ) (大子 (西松建乳 ) ) (大子 (西松建乳 ) (大子 (西松建乳 ) ) (大子 (西松生 ) ) (大子 (西水生 ) ) (大子 (西水

続建建 (7) く 設 設

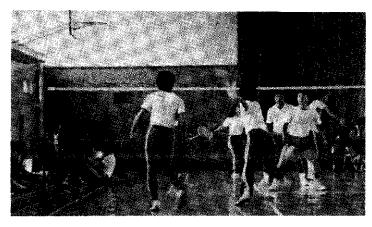
## ◇火災とまぎらわしい 届出について◇

------ 消防 署 か ら の お 願 い--

火災とまぎらわしい煙又は火災を発するおそれのある行為(古材、古カヤ等の焼却、大規模な火入等)をする時は条例にも定められていますので事前に消防署へ届出をして下さい。又行為をする時は、次の注意事項を守り、行為について十分留意して下さい。

- 1. 行為前に消防署へ届出をすること。(届出用紙は消防署にあります。又電話で届出する時は7-2310番です。)
- 2. 行為中は必ず監視員を配置すること。
- 3. 行為中は必ずパケツ等に水を用意すること。 (雪の上の場合には、スコップ等を準備すること。)
- 4. 気象の変化により危険状態になった場合は直ちに中止すること。
- 5. 気象条件によっては、消防署より中止等の指示をすることも ある。

◎火災警報発令中は法令により実施することはできません。





三位 千年チーム 三位 伊沢チーム 一位 松代B組 一位 松代B組 三 三位 位

高橋美由

3希( 松代-

2小学校)

交通のきまりを 守りましょう

- ◎わき見運転など無暴な運転は しない。
- ◎酒酔い運転はしない。
- ◎歩行者も、きまりを守りましょう。

定人員が採用の し次次験21間定 と 12 10 と月月 おは上1 月 `旬日 四て 十人まり 24 ず警 ね察 日 下署 す警察

警察官 !!



(8)

きた

中今 鳥会 た。

程だ っな を質問の話 た 日 で時間 夜 でを似った。 ° p 才地 b | 元野 バの鳥 1人の す達特 るの徴

を人かで で越達ら探四団 頂 り宿 L し長いか ま さ半ら代前 たで、四たけれに運山さ のの六郎だつる起ん岳ん で整時ん きけ頃床でスの ₺ **`**会 むを薬の四部 らし好 な終師道〇落松館 ラツ意 つ少に くっ峠案名の代前

い二路頃 御アク。 借話すし さのりにサ い友てなギな っ を 見 っ ځ 礼 た てを部るた 申 落こが 野しのと

> た ん 9 た ح

یے

分外校

とち てた きま ゆう Š < でとま 豖 l た。 のかとら 下んうた っかにちん てら行ゃ鳥 `行きん会

鳥 鳥き い会私のま よ鳥 です。 なき声 か つ たけど、 ーを見まし たき声 よく の鳥のいる。 を聞く 聞 てた鳥なた たび °のきの せ声は (८ N € た で聞ひ

みま を しの たぼっ でし つ

とトがと オ言ピんあだ。とん聞 といれれしとん聞 さままいし、が休ん よっし、が休み山 はせオ `んサ でメートを表していました。様はで、一人の近ら明だった。 た。 私 で見る <del>بع</del> ح た。 ピ 中じ で はオ ط 島ゃ す 丸 本 サ ・先な 。 はをギ つ生い つ見であがで いますれ `す てし 。はそか いたし

くイしや私まア をみ取しスた っ様ズ。し うズくしだ 先がは、たけで ŧ は、フズンなと思 生かた し b う して メい = を 見 し やす <u>.z.</u> 0 また。 ナ

で出て わ à 君た を見ると、 が鳥

> **゜**のいが でふ を りて っしま ん

ぜでにた草そ雨 ゚゚ゕ゚ゟゔ き ক্ষ (7 の中ぬか にれぶ + ع はて 五めいやて を っっい てとる 類 し いま聞ふ人 くくが たし よたこしい とかま で のんし

とガーロトポニつにのそ<sup>つま</sup>くラーはガソ種ぎきがのホず きます てスとしラガ類はけあ後 `はにがスラい `んりにホう今 細でスるカなま「ケぐで  $\neg$ て、。 です。 ですっ ことが す ケ 力は つ < キいも τ 1んた キ ョすお カた声なハうすでがそ 3 [\_\_ でぼ きシー°すおれケ 声ボつー°こはキ しいで ですえ す こはキわ とロ °がソはつカっ ョかうい すはハ「ガ`はラた自∟りぐる んしシガラハ 、ス時分と まい鳥 だがブースシハででのな すすは 声ふトガはグシもすみくがは、

びそそで でっうういツな たこ びそ た す し た。出 ° Ø < で でなバ はで りな すいメ し · す て ع æ V ゚゜た ۲ スで こス てビそのズ もろズ もがのはメ `でメ ŧ いい反 スはは いな対アいズ のかにオるメ生人 にっがサその活間 とたっギラ中しが こくがででな住 いとりいすはいん

と少たたに思しだとな つ H ろたの がした まな雨 しまさい したした。 たしい。 がふしし鳥 聞らから会 かな っけは れけた 鳥 たれでがと ځ のはす τ んも (۲ な ₺ で勉 あう い強

رح な 2 た

ħ きみ運転はやめま

日

1

隔を置いて運転して

いて現われった状態」がっているドラー

い時バ

す半は、

てー

ま間

運に 動 一長 度距 を 休離 憩運 を転 しの ځ ` 身き 体は **0** -屈時

いま る た 時 間運帯転 は者 **`**の 午前 後二~三 時し こて

> 下するといっろは平均値で 、われていまでの二○%、 に平均値の七 ます。七〇%も 午前二~ V 低

わき 気 ら話助 を運転 げし手 も中 てかの やけ役 ځ に流すようときどき冷 ろ運目 う転は 者重 の要 気持を和くてときど にた

(9)

# ぶみ俳句会

4 月 26 日 山他石 於・克雪セ ン 選 夕

出稼ぎの目に古里はブナ芽吹山裾は雪深々とフナ芽吹く 明

開け放 放ち雁木は、一分に軒端は、 温し剪定する温し車組む

病室で歩行 訓一 練 ☆春を待つ

仙

雪おろす男まさり廃屋のうもるまま うもるままの Ø 留守居

水

雪解水 飛沫とな 4りて岩をうつ 茶

わず か なる雪間の 畑を焼きに が花り

山鳴りの に信 川鳴りもし温機路古き門場 て峡の 春 淡 水

つず つ冬を越したる鉢を出す

道のまだ雪深き四月かな

もら ٧٦ 風呂おぼろ月 夜の道帰る 八千代

心待つ鶏足山

Ø

雪解け せせらぎ伝 い里の 家

城跡の 月の夜桜散り初

プールで体力づくり

8 Ш 石

句 5 月 総 11 合 日 セ ン ŋ

陽だまり 雪割って て 稚 明日の 種もみ袋雪さら 立らし

大寺の芽吹きそめたる大欅曲り屋の今年も減りし木の ぼり は ためきぜんまい干 し 上花

が 鯉

春の霧 残り雪ある村に

梨 菊の根 花分析け ζ. 老 咲い いて越も奥のなるともなくな 、て越も奥 楽し歩

風

目に映る青草目覚むれば 映る青葉 は 車窓林檎の サ のあ か山 に桜 鯉のぼ 花畑 ŋ 風 司

ほととぎす妻は 餉 0 台所

ひるがえる朴の 若葉の 朝の हांच 水

柳芽ぶき妻も眉引く 少 し濃く つぢ

苗代の案山子がる室野まだ五月一日 暮六つの を被るヘル・日雪三尺 ķ ッ紅 茶

まだ日 ブナ芽立ち は 高 回しよもぎ摘む

雪椿手折りて上げぬ花まつり 石

明けやらぬ万寧山や仏法僧 八千代

とおり開設し いております町民プールを、毎年多数の皆様から利用い いで下さ きまりを守り .................................... りみい なで 次 た の だ

● 第 第 二 号 号

(室野)

(松代)

分 14 11 一時時

30 16 30

ださい

◎期間と時間

21

時 日

9 8

時月

10

 $\Box$ 

第二二回目 二三回目 二三回目 第二三回目 第151210時 151210時 151210時 151210時 30 30 分分12 1 1 時 17 14 時時 30 30

分分

選

若

千年 柳 葉

水

字をすっ ぽり包む Ш も欅若葉

村の家がよく見え柿若葉

小の芽雨

耳うとき我 ħ の 真上に時鳥

星まばら一声高く時鳥

さぎよく川

(

流るゝ餘り苗

右左り青田濃く なり雨を待 つ

足を病む妻は眠らず短か夜ぞ

のゝしりて見れば我れなりわらび取り

鶯の啼音短かし老に入

入梅や製材音もしめりが

俳句

夏

暗夜 にもたゞあざやか に手毯花

古池 に紫あやめ初夏の

冷奴酒 ぱい

青紫蘇を切ざみ冷麦夏 の

心太かけひの水やたれ ちまき結ふ姿の手つきのあざやか

号(松代)プ

ル

は

0

味

ф 開

7月2日~8月0日

なできまりを守りが期間、夜も開設いた第一号(松代)の 楽た のプ ま ルは次 でく